

知って備える防災メモ

第18回



台風が上陸したときは…

台風によって引き起こされる自然現象

- 暴風
- 大雨
- 高潮
- 高波
- など

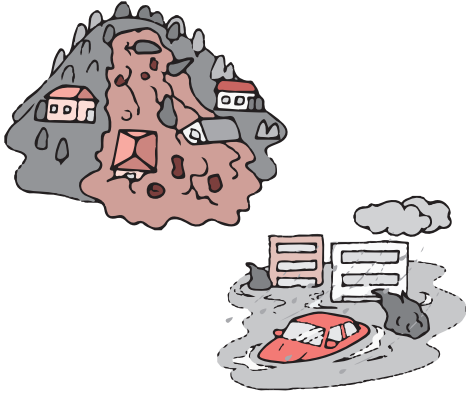


複合して発生

単独で発生するだけでなく、
大きな被害をもたらします。

●過去の発生事例

平成25年9月には、東海地方に上陸して三陸沖に抜けた台風18号と、その北側に停滞していた前線の影響で、北海道から西日本にかけての広い範囲で大雨や暴風、高波となり、滋賀県、京都府、福井県に対して、運用開始後初めて『大雨特別警報』が発表され、最大級の警戒が呼び掛けられました。



●台風に伴う危険

気象台で発表する

防災気象情報の例

『警報』：重大な災害が発生する恐れがあるとき
『特別警報』：重大な災害の危険性が著しく高まっているとき

台風の接近が予想されるときは、増水した河川、崖崩れの危険がある場所、高波が打ち寄せる海岸など、危険な場所には絶対に近づかないようにし、暴風による飛散物や倒木にも警戒してください。

また、避難場所を
確認しておくなどの
準備も重要です。



問い合わせ

室蘭地方気象台 ☎ 011-424249

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

幌別西サッカースポーツ少年団



『周囲を見よう』
『前もって考えよう』
をモットーに

昭和43年に結成された『幌別西サッカースポーツ少年団』は、市内で唯一のサッカーの少年団です。現在、団員は幌別西小学校・青葉小学校の児童を含め14人。毎週火・木・土・日曜日に幌別西小学校などで練習し、冬は体育館でフットサルを行っています。

結成当時から46年間、団長として子どもたちの指導に当たっている伊藤吉司さんは「サッカーはチームプレイです。チームのために自分がどう動けば良いかを考える必要があります。子どもたちが成長し、社会に出たとき、その経験はきつと役に立ちます。技術面がうまくなることも大切ですが、サッカーを通じて、周囲を見る力や相手を通



▲基礎練習を行う団員たち

思っで行動できる力を身につけてほしいですね」と話してくれました。

同少年団は、体験入団がきっかけでサッカーを始めた団員が多く、小学3年生の夏に入団した、大平彩羽さん（幌別西小学校4年生）もその1人です。

「小さい頃からサッカーに興味があり、体験入団がとても面白かったので、サッカーを始めました。今はシュートやパスの練習が一番楽しいです。これからもサッカーを続けて、今よりももっとうまくなりたいです」と元気いっぱい話してくれました。

見学を希望する方は柄目さん ☎ 090-1842715917 まで。

子どもからの感謝の言葉が活動の励み

「郷土資料館の体験学習などをよりよいものにするため、暇さえあれば資料館に足を運んでいます」と話す工藤章造さん。

工藤さんがSLGで活動を始めたのは、平成6年。「川上公園の冬まつりでたこ揚げを手伝ったことをきっかけに、郷土資料館で体験学習の手伝いを始めました。建築業の経験を生かし、備品の整備にも取り組みむようになりまして」と振り返ります。

SLGには工藤さんの他にも教員や公務員、技術者など、さまざまな経歴を持つメンバーがあり、それぞれの得意分野を生かして、歴史、そば打ち、しめ飾り作りなど多彩な体験学習を行っています。全員に共通しているのは、自ら楽しみながら活動を続けていることです。

「しめ飾り作りの材料のスケジュールのうちから山に探しに入ったり取り取らなくてはいけないなど、体験学習の準備には大変なこともあります。参加した子どもから感謝の手紙が届くと、まだまだ頑張らなくてはという気持ちになりません」と工藤さんは笑顔で話します。



▲そば打ち体験の講師を務めるSLGのメンバー（右）

す。

これからも新しい取り組みを

工藤さんは、子どもにも大人にも喜んでもらえるよう、これからも新しい取り組みを続けていきたいと話します。今後は、体験学習の材料も一から作ることに試行錯誤しています。

「脱穀の体験学習のために稲を作ろうと、休耕田を借り、整備しています。今は作付けが困難ですが、来年秋の収穫を目指して準備を進めています。自分も楽しみながら、参加者の期待に応えたいです」と、意気込みを語る工藤さん。

新しい取り組みへの挑戦は、これから続きます。



KIRARI

く どう しょう ぞう
工藤章造さん(富士町)

郷土資料館を拠点に、体験学習や館内案内などを行っている『郷土資料館ボランティアグループ「SLG」』。平成5年の結成以来、その活動は20年以上続いています。

郷土資料館の体験学習の開催や備品整備のほか、小学校の郷土学習への協力、地域の催しでの昔の遊び体験コーナーの開設など、同グループは多岐にわたる活動を展開しています。

会長の工藤章造さんに、活動への思いやこれからの取り組みなどについて聞きました。

大人にも子どもにも喜んでもらえるよう活動を続けたい



昭和13年、青森県つがる市生まれ。76歳。建築業や陸上自衛隊を経て、昭和36年に室蘭市内の企業に就職。現在は、登別市社会福祉協議会評議員を務めるほか、『SLG』の会長として体験学習などを通し、地域の教育活動を支えている。